



〒915-0823
福井県越前市本町10-2
親縁山 大寶寺
TEL/FAX (0778) 22-1682

お墓参り、盆棚経のご案内

光陰矢のごとしといいますが、本堂に日が経つのが早いことを実感している今日この頃です。

さて、お盆が近づいてまいりましたが、次のようにお墓参りと棚経を勤めますのでよろしくお願い致します。

○7月13日 武生地区お墓参り。

本堂南東側の外縁に灯籠を出しておきますので、該当の方は準備をお願いします。

○7月14、15日 新盆棚経

14日は武生地区、15日は鯖江、福井地区の棚経に廻ります。

○8月10日、総墓参り盆施餓鬼会

大寶寺のすべての檀信徒のご先祖のご回向をするお参りです。本堂においてはお施餓鬼のお勤めが営まれます。ご供養を希望の方は別紙の申し込み用紙に必要事

永代施餓鬼会法要の際に、ミャンマー・サイクロン災害、中国・四川省大地震、岩手・宮城内陸地震災害緊急救援募金を致しましたところ、一九、六五〇円の浄財のご喜捨がございました。どうもありがとうございます。

項を記入の上、ご供養料を添えてお申し込み下さい。

○旧盆棚経

8月11日 湯尾、8月12日 具谷 8月

13日 燧、南条、武生周辺地区、鯖江、森

行、浅水 8月14日 栗田部、中居、五分市、

北村、国高、村国、八幡 8月15日 五郎

丸、上鯖江 8月16日 樫津

○施餓鬼法要

8月16日 午後 法林寺永代施餓鬼会

8月17日 午後 浄土寺盆施餓鬼会

棚経の訪問時間につきましては別紙にてお知らせしております。なにぶん、限られた時間に多くのお宅を訪問致しますので、ご希望に添えない場合もございますが、時間の都合が悪い場合にはご連絡下さい。

平成二十年

墓参り御案内

八月十日(日)

○お施餓鬼法要 本堂にて

午前九時半頃から

○昼食 庫裏にて

正午〜一時頃まで

○お施餓鬼法要 本堂にて

午後一時〜

山門(北側の門)横の観音堂にて水塔婆の供養を受け付けています。

永代施餓鬼会法要

6月21日、22日

今年の永代施餓鬼法要を6月の23日、24日の両日、大寶寺の本堂にて勤めました。

あいにくの梅雨空にもかかわらず両日も、大勢の参詣者にお参り頂いて本堂正面の施餓鬼棚でお焼香をして頂きました。



伊勢大神楽親方山本喜一郎氏 墓碑改修開眼法要、神楽舞奉納

6月22日(日)

今年の永代施餓鬼会法要の二日目、22日に大正4年に武生で亡くなった伊勢大神楽の親方、山本喜一郎氏の墓碑の改修開眼法



開眼法要では修復の済んだ墓前にて、笛の音に合わせて獅子舞が奉納されました。



阿弥陀様も、観音様も、勢至菩薩様も一緒に観覧。



要を12時半より執り行いました。

開眼供養の間は、なんとか持った空模様も、1時からのお神楽舞の奉納の時には本降りになりましたが、昨年にもまして大勢の参詣者が、お神楽の舞を堪能しました。大寶寺の檀家以外にも、ご近所の方や、伊勢大神楽の記録のために、はるばる滋賀県や京都府からお見えになった人も、とても、楽しい演技に時には笑い、笛の音や太鼓などの楽器に合わせた迫力のある獅子舞には惜しみない拍手を送って一時間半あまりのとても充実したひとときを、過ごすことができました。



第39回おてつぎ信行奉仕団

6月10、11日の両日、第39回大寶寺おてつぎ信行奉仕団の一行30名が総本山知恩院を訪れました。今年は何知恩院門跡中村康隆猥下の表葬が11日午後には執り行われることもあり、例年とは異なった日程となりました。とりわけ10日の午後には知恩院内の古経堂にて、中村猥下の御遺骨の到着を知恩院の職員の皆さまとともにお迎えするという尊い機縁を頂きました。

また、今年は大寶寺の若がおてつぎ運動専門員として、行道を引率したり、行事の説明をしてくれました。まだ、ただどしい部分もありましたが、今後が楽しみです。

二日目は幸い前日の雨の天気予報がはずれ、この時期にしてはまずまずの天気恵まれ、檀原神宮と当麻寺を拝観しました。檀原神宮、当麻寺ともに参道が長くお疲れの様子も見えましたが、全員無事に福井に帰ってきました。



鳥取県の米村昭寛上人から鈴のような美声でご法話などご指導を頂きました。



大寶寺の若が皆さんをお迎えし説明や案内、引率をしました。



知恩院は11日の中村猥下の表葬の準備で大忙しのようす。



職員の皆さんとともに古経堂で前御門跡の御遺骨をお迎えしました。



帰途の途中ガイドの若杉さんと記念撮影。お世話になりました。



当麻寺中之坊のご住職から極楽を描いた曼陀羅のお話がありました。



檀原神宮の大鳥居と長い参道。さすがじゃの、ほやけど遠いの～。



前御門主猥下の表葬の前日とあって、念入りに掃除しました。

ご案内

第38回浄土宗子供の集い 参加者募集 7月29、30日

今年も県浄土宗青年会および児童教化連盟の合同で、子供の集いを開催致します。今年も福井市白浜町の欣浄寺にて開催となります。小学3年生から6年生、また、その保護者の方が対象となります。

お経を読んだり、歌を歌ったり、お話を聞いたり、とても楽しい、豊かな情操を育む良い機会です。今年も力ヌー体験もごさいます。ぜひ、ご参加下さい。

(別紙参照)



みんな一緒に礼拝の練習。H19. 7. 30 大寶寺庫裏にて

もったいないの心

濁中蓮華

濁った世間に咲く蓮の花の意

ノーベル平和賞受賞者のマータイさんが取り上げたこともあって、「もったいない」ということが注目されている。通常「もったいない」は資源を無駄にせず節約しようというときによく用いられる。

ところで、「もったいない」には、もうひとつの使い方がある。今年2月22日、国内最高齢であった高知県南国市の豊永常代さんが百十三歳で老衰のため死去した。常代さんは晩年、介護施設に入所していたのだが、明るい性格で「こんなにしてもらって、もったいない」と言うのが口癖だったそうだ。この場合の「もったいない」は感謝の気持ちを表している。

これらふたつの「もったいない」は、一見意味が異なっているように見える。仏教は食べものなど、さまざまなもの神仏からの賜り物であると説く。そうであれば、前者の「もったいない」は単に無駄を省こうというだけでなく、感謝して、おしただくべきものを粗末に扱うことに対する戒めということになる。したがって、どちらの「もったいない」も、本来は、ものごとに対する感謝の心が裏打ちされているべきと言える。

このことは現代では忘れられがちで、時には「もったいない」と言うことが、客の残した料理を使い回したり、賞味期限の切れた食品を偽装して売りさばくときのいいわけとして用いられることすらある。

「もったいない」ということが単に損得勘定ではなく、感謝の気持ちを含めて、世界中で使われるようになれば、きっと、地球環境の改善だけでなく、世の中に潤いを取り戻すことにつながるのではなかろうか。

合掌

flower arrangement
ふるーれー
総墓参り用
お花販売のご案内
8月10日(日) 午前8:00より
総墓参りに境内入り口でお墓参り用のお花を販売します。ぜひ、ご利用下さい。
問い合わせ先:
〒915-0825
福井県越前市南 1-1-17
TEL/0778-21-0005
FAX/0778-22-0897
営業時間/9:00~18:00
定休日/日曜・祭日

